

(別紙3)

文起第1842号 - 1

令和7年12月26日

(施設名) 米子市立山陰歴史館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原弘一郎様

米子市長 伊木隆司

令和6年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(4年目)

【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。

・毎月の「運営状況チェック表(自己評価)」、半年ごとの「モニタリング評価表」で確認した内容等を記入する。

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

自主事業では、米子城跡や鉄道などの常設展示に加えて、「広告いろいろ展」や「昔のあそび展」などの郷土の歴史に触れることができる企画展が実施された。また、他の施設との連携事業として実施した「米子歴史絵巻」、教育普及事業として実施した郷土の歴史教室の開催など、幅広い事業の実施で利用促進につながった。

施設運営では、企画展開催期間中の休館日の取扱いなど、サービスの向上につながっている。

【第三者評価】

①施設について

- ・建物の老朽化で様々な場所のメンテナンスが大変だと思う。
- ・照明器具の蛍光灯からLEDへの交換などを計画的に実施していく必要がある。
- ・展示室の冷暖房設備への改善が必要である。

②管理について

- ・企画展の開催中は、休館日も開催することで利便性を図り来館者への配慮がなされている。
- ・アンケートの対応も利用者目線を捉える姿勢が見て取れる。

③事業について

- ・歴史は、伝統工芸、郷土文化人、芸能など多岐に渡る。そのため、事業計画では嗜好の異なる人々のニーズ把握が集客に繋げると思う。
- ・他3施設に比べて、ひとつの事業に対する経費が突出して高い。(施設事業費÷事業開催数)
- ・美術館との連携事業はとてもよかった。
- ・館内見学ツアーは、建物の歴史的価値を知るうえで、とても良い企画である。
- ・企画展は、職員のアイデアが生かされたものだと感じている。一人一人の意見をすい上げて運営されている職場であるように思う。次年度も地元の誇れる歴史を広く紹介していただきたい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・来館者のニーズ把握を行い、郷土の歴史に触れることができる効果的な自主事業を実施することで、継続的な来館者の増加を図ってほしい。
- ・令和9年度に施設の大規模改修を予定しているため、それまではスポットクーラー等を活用して展示環境の改善を図ってほしい。
- ・第三者評価の結果も踏まえて、今後の業務改善に取り組まれない。

【第三者評価】

- ・サークル等の研修で来館するのにマイクロバスの駐車スペースがあると便利である。
- ・館内の有効活用を考えてほしい。1階受付の左側(企画展スペース)に事務室移転、別館に収蔵している図書及び図面等を館内に配置し、入館者が自由に閲覧ができるようにしてほしい。また、室内中央に広い机及び椅子を配置してほしい。
- ・情報発信について、企画展などの内容によって、特にどのような人々(世代)をターゲットにするか重点を絞った情報発信の方法も考えたら良いと思う。
- ・常設展「古代からのメッセージ」は、とても分かりやすい展示なので、小中学生がもっと来館してくれるように学校などにも今以上に働きかければ良いと思う。
- ・他の施設との連携事業やイベントなど、これからも工夫して実施してほしい。
- ・どこの事業所でも人手不足が深刻化している。専門性の高い職員や、やる気のある職員が離職しないような環境づくりも全館共通してほしい。
- ・幅広い世代が関心を抱くような企画展が実施されており、好感が持てる。

(別紙2)

令和6年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表 [令和7年11月]

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	協定書に基づき管理体制が整備され、水準以上の人員配置がなされている。また、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整えられている。 [資料等確認、立入調査]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	米子市などの外部で実施されている研修にも参加し、職員に必要な資質・能力の向上を図っている。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示、広報やホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供、SNSの活用を行っており、利用促進に努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	利用者数は前年に比べると増加しており、高い水準を保つ

			ており、稼働率も適切な水準である。 [資料等確認]
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケートの実施や窓口対応を通じて、利用者からの意見及び要望の把握に努めている [資料等確認、立入調査]
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書の基準に基づき、設備等について適切な保守点検が実施されており、第三者に行わせる業務も必要最小限である。 [資料等確認]
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、日常の清掃業務や点検が適切に行われており、第三者に行わせる業務も必要最小限である。 [資料等確認、立入調査]
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、保安・警備業務が適切に行われており、第三者に行わせる業務も必要最小限である。 [資料等確認]
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書の基準に基づいて、適切な修繕業務が実施されており、第三者に行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	事業計画に沿って、歴史教室やガイドウォーク等を実施、保存団体と連携した事業を展開している。また、関係施設と連携して複数のイベントを実施している。

			[資料等確認、立入調査]
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制・管理体制の整備、個人情報取扱方針の作成等の措置を行い、個人情報を慎重に取り扱っている。 [資料等確認]
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	施設の現状を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。 [資料等確認]
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	アンケートの実施や窓口対応等を通じて、来館者からの要望・意見の把握を日々行い、需要に沿ったサービスの提供がなされていた。 [資料等確認]
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	定期的な清掃・点検を通じて、適切な維持管理がされており、良好な状態で施設利用が行われている。 [資料等確認、立入調査]
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	事業計画書に利用者への具体的なサービス向上策が提案され、利用者への接客・対応も適切である。また、利用者への資料提供を適切に行っている。 [資料等確認、立入調査]
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	鑑賞事業以外にもガイドウォークや歴史講座等を実施し、様々な角度から郷土史について学ぶ機会を提供できている。 [資料等確認、立入調査]

5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設の設置目的に沿って、市民の知る事の少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。 [資料等確認、立入調査]
Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3	団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	妥当である。 [資料等確認]
【総評 (所管課評価)】 協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理運営を行っている。特に、今年度は利用者数が増加しており、コロナ禍以前と比較しても良好な水準といえる。事業については、近年、鉄道関連資料の収蔵数が増えており、企画展や常設展等、それらの資料を生かした「鉄道のまち」としての米子の歴史も学べる展示ができています。			合計点 (76) 点 / (100) 点 × 100 = (76) 平均点 (3.8) 点	

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】山陰歴史館

1 利用状況

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
閉館日数	308	309	-1	99.7	
施設利用者数	32,546	29,799	2,747	109.2	
施設稼働率	100.0	100.0	0.0	100.0	
事業開催数	26	28	-2	92.9	

2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	33,317,000	32,478,000	839,000	102.6	
利用料収入	456,700	312,250	144,450	146.3	企画展観覧料の減による
事業収入	1,209,959	926,109	283,850	130.6	図書販売及び共催事業負担金の増による
業務受託料	700,000	900,000	-200,000	77.8	受託事業の規模縮小による
補助金等収入	0	564,502	-564,502	0.0	記念事業（国費）の減による
雑収入	10,980	5,120	5,860	214.5	調査協力手数料の増による
合 計	35,694,639	35,185,981	508,658	101.4	

(2) 支出

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	24,586,221	22,865,485	1,720,736	107.5	
施設費	7,086,566	7,354,785	-268,219	96.4	
施設事業費	1,910,857	2,273,974	-363,117	84.0	
委託費	1,427,250	1,719,000	-291,750	83.0	
事務局費	2,273,880	2,234,000	39,880	101.8	
合 計	37,284,774	36,447,244	837,530	102.3	

3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対比 A-B	対比 A/B (%)	備考
①事業収支	-1,590,135	-1,261,263	-328,872	126.1	人件費の増による
②利用料金比率	1.3	0.9	0	143.8	企画展観覧料の減による
③人件費比率	65.9	62.7	3.2	105.1	
④外部委託費比率	3.8	4.7	-0.9	81.1	
⑤利用者当たり管理コスト	1145.6	1223.1	-77.5	93.7	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	1023.7	1089.9	-66.2	93.9	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入×100）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出×100）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×100）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考
①自己資本比率	44.8	55.5	61.2	54.6	59.7	
②流動比率	196.3	257	312.3	247.8	318.6	
③固定長期適合率	12.6	10.9	10.9	9.5	9.7	
④総資産経常利益率	-8.1	8.8	3.9	7.3	2.1	
評価	（以上の指標を参考に評価する。）					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率（%）＝自己資本÷総資産×100 【例】800÷2,000×100＝40.0%

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる資産を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率（%）＝流動資産÷流動負債×100 【例】1,100÷700×100＝157.1%

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率（%）＝固定資産÷（固定負債＋自己資本）×100 【例】900÷（500＋800）×100＝69.2%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資産×100 【例】200÷2,000×100＝10.0%

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
資産合計		資本金	600
2,000		利益剰余金	200
		純資産合計	800
		負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

企画展「～米子の近・現代を映す～広告いろいろ展」

開催：令和6年4月14日（日）～6月9日（日）

■年代

20代：4人 30代：4人 40代：4人 50代：5人 60代：2人 70代以上：7人

■お住まい

米子市：10人 境港市：3人 安来市：2人 松江市：1人 広島市：1人 福山市：1人 福岡市：1人 神戸市：1人 大阪市：3人 和歌山県：1人

東京都：1人 千葉県：1人

■今回常設展をご覧になりましたか？

はい：21人 いいえ：5人 [時間がなかった1人・前に見たため2人・記入なし2人]

■ご意見・ご感想などがありましたらお書き下さい

・朝日座焼失、昭和51年の写真にびっくり。昭和51年は私が米子に来た年です、米子生れでないと、いまだに町名が分かりません。そんな火事があった(という)記憶がまったくありません。温泉全図の上にある町名を記したパネルは分かりやすいので、数カ所の壁面にあると良い。

・市内の旧家のうずもれた資料を、今の内に発掘して下さい。

・若い層にも目を向い(け)てもらうため、現代の広告との違いを20代～30代(の人)に理解させるのが必要。これはただのポスターの解説にしか過ぎぬ、ポスターの芸術性だけで、解説には一工夫が必要では。受付の方の接客姿勢がすごく場なれしてはじめて好きな対応である。

・旧市役所のイメージはあるが、現在の展示場は、あまり知られていないと思う。貴重な米子の歴史を大切にして下さい。

・近現代史が好きなので、旅行中にたまたまで見ることができて良かったです。

・引札展示が面白いと思います。

・郷土の歴史が毎回よくわかる内容でよかったです。これからもがんばって下さい、楽しみにしています。

・米子をはじめとした伯耆の歴史や文化を学べてよかったです。また来させて頂きます。

・ポスター、マッチ箱 面白かったです。観てあきないです。米子に来たらまた来たいです。

・ゆっくりと見ることができて、とても良かったです。解説も丁寧に書かれていてとても勉強になりました、実際に同じものを目にして人が過去に生きていたことを考えると、実物を見ることができ貴重な機会を得ることができて良かったと思いました。

・今回、展示品が多く見ごたえがありました。マッチの展示も本格的なものを希望します。

・米子城、尾高城について分かりやすくまとめられて良かった。

・明治時代、米子市内に、牛乳のさく乳所があったことに感動しました。ポスターに二輪車で運ぶ姿も描かれていて、それを帰宅してからも家の者にも見せたくて、300円の「広告いろいろ展」を買います。

・広告いろいろ展、美術としても興味深く、歴史も学べてとても良かったです。300円は安く、かなりお得だと思いました。

・米子市ゆかりのものが見られて、興味深かったです。当時の米子の様子など解説も楽しく拝見しました。

展示「そこにある絶景 米子フォトギャラリーⅡ」

■年代

10代未満：2人 20代：5人 30代：1人 40代：3人 50代：12人 60代：10人 70代：11人 80代以上：9人

■お住まい

米子市：37人 米子以外の鳥取県内：13人 松江市：2人

■自由意見

・二度とない、一瞬、一瞬をきれいな写真で見ることができて嬉しかった。これからも素敵な写真を通して米子城跡の魅力を発信し続けてください。

・最近 米子城跡が話題になって、自分も愛犬とよく散歩がてら登ってます。この企画はいろんな表情が表情が見れてよかったです。

また、他にも今後も企画期待しています！！

・写真も素晴らしく、ついつい見入ってしまいました。米子城跡には何度も訪れ、景色も眺めてきましたがこんな素晴らしい瞬間を写真におさめられたら幸せですね。

・コメントがとてもおもしろく写真をひきたてていて、とてもよかったです。

・病室から見える米子城は、とてもステキです。ただ、医大との間の道が、とても混むのが残念です。

・天守閣が2つあるお城として社会科の時に教えてもらい誇りにしていました。今、絶景の城として注目を浴びていますが自然がこわされない程度に有名になってほしいと願っています。とても心にしみる写真展でした。

・城跡に登った事がない自分にとってどれもステキな写真ばかりでした。自分も一度足を運んでみたいと思いました。

・米子城が日本一の城の評価を得て、ますます、素晴らしくなりました。ダイヤモンド大山や、オレンジロードで、市民に親しまれるお城にしてください。一度、夜に登ったのですが、それは、大変なきょうふでした。帰りの階段が怖いでした。

・どの写真も感動しました。「冬の黄金城」は、とても良い作品だと思いました。若い時から良くお城に上っていましたから、うれしい作品ばかりでした。

第17回池田家墓所写真コンクール作品展

開催：令和6年6月22日（土）～7月21日（日）

■年代

20代：2人 40代：1人 50代：2人 60代：1人 70代以上：2人

■お住まい

鳥取県西部：4人 鳥根県1人 東京都：1人 神奈川県：2人

■国史跡鳥取藩主池田家墓所を知っていますか

行ったことがある：1人 行ったことはないが知っている：3人 知らない：4人

■自由意見

・フォト575が面白い。詩を見てどの様な意図で撮ったか気持ちが伝わってくる。

・写真の鮮度が素晴らしかったです。

・写真のエピソード、データがない

「米子歴史絵巻～能楽のタベ～」

開催：令和6年9月23日（月・祝）

■年代

10代未満：3人 10代：1人 20代：5人 30代：4人 40代：6人 50代：12人 60代：36人 70代以上：40人

■お住まい

米子市：72人 米子市以外の鳥取県：18人 鳥根県：14人 広島市：1人

■自由意見

- ・初めて生の能を体験しました。西洋音楽で例えるべきではありませんが、生のアカペラと踊りが非常に楽しかったです。細かい目線、扇の使い方がこんなにせんさいに表現できるかとおどろきました。また、能体験コーナーもとても楽しかったです。貴重な経験ができました。ありがとうございました。
- ・米子城という特別な場所で大変すばらしい催し物でした。これからもよろしくお願い致します。
- ・すず虫の音響がひきたちました。動と静が能の良さを感激しました。
- ・全く知識のない状態で初めて能楽を鑑賞した。説明内容は残念にも分からなかったが、雰囲気として少し理解できたようです。経験できないひとときをすごすことができました。大変気分良く帰路につきます。機会があれば、再度参加したいと思います。
- ・米子でしかも室外で、このような本格的な舞台を見られてとてもよかったです。天候が不安定な中、準備のスタッフさんも大変だったことと思います。どうもありがとうございました。
- ・地の利を活かしたすばらしい企画でした。能楽を鑑賞する機会は山陰ではほとんどないので、大変ありがたかったです。無料なのもうれしいです。不安定な天候の中、準備も大変だったと思います。感謝感謝です。
- ・三の丸で城山バックのステージは異世界。今後のイベント期待したい。
- ・プロの方の能楽は初めてでした。すばらしい一言です。米子で聞かせて頂いて大変ありがとうございました。又ぜひお聞きしたいです。
- ・地謡の声が本当にすばらしかったです。たきぎは燃えていなかったものの秋の虫が鳴く中不思議な世界を体験しました。弁慶迫力あり素敵でした。舞台設営などほんとうにお疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・能ははじめてなのでわからないことだらけですが、解説してもらえてよかったです。素謡はすばらしかったです。
- ・雨が上がって良かったです。待ち時間に米子城石垣を見て「荒城の月」を思い浮かべておりました。奥深い世界ですね。ありがとうございました。
- ・舞台が低くて段差が無い一番後ろの席は見えにくかった。
- ・ステキなイベントですが、全然知らなかったのもっと宣伝してもらえたらと思います。歌舞伎、文楽、民謡など希望します。解説がありわかりやすくよかったです。
- ・角から直角の席でしたがかがり火とスピーカーがじゃままでにいくかったです。スピーカーの高さを調整するかしてほしかったです。その他はとてもよかったです。勉強になりました。

企画展「いつもはしまつてある民具展 2024ー民具でたどる郷土の歴史ー」

開催：令和6年10月27日（日）～ 令和7年1月13日（月・祝）

■年代

10歳代：3人 20歳代：5人 30歳代：3人 40歳代：7人 50歳代：8人 60歳代：3人 70歳代以上：11人 記載なし：1人

■お住まい

米子市：21人 米子市以外の鳥取県内：2人 鳥取県外：18人（鳥根県 4人、広島県、熊本県、兵庫県1人、京都府3人、大阪府、三重県、愛知県、神奈川県、東京都 3人、東北地方 1人）

■今回常設展をご覧になりましたか？

はい：23人 いいえ：14人（時間がなかった3人、前に見たため9人、記載なし2人）

■企画展についてのご意見・ご感想

- ・常にそうですが、大変貴重な展示があるのに来館者が少なくもったいない。図書館、美術館に一部を展示して人を誘導するというのはいかがでしょうか。
- ・なつかしいものもあり、版画で（当時の）風俗が伝わりよかったです。